

## 農業物価統計調査の評価（案）の概要

### 1. 業務内容及び契約期間

#### (1) 業務内容

農業物価統計調査における実査準備（調査関係用品の印刷、調査客体への協力依頼・確認、調査員の確保・指導）、実査（調査関係用品の配布・調査票の作成、調査客体からの問合せ・苦情等の対応、調査票の回収・督促）、審査（調査票の審査、調査客体への疑義照会）、調査票の電子化・都道府県別結果表及び価格変動要因等整理表の作成、調査客体への謝礼支給に係る業務

#### (2) 契約期間

平成 23 年 11 月から平成 27 年 3 月までの 3 年 5 か月間

### 2. 実施状況に関する評価

- (1) 調査客体の代替を必要最小限とし、一連の業務（督促業務等）を通じ、調査票の回収率 100%を達成すること。
- (2) 本業務の実施に当たり、農林水産省と調整した上、スケジュールに沿って確実に業務を実施すること。
- (3) 照会対応業務においては、民間事業者が作成した問い合わせ・苦情等対応マニュアルに沿って対応すること。
- (4) 報告期日までに報告するとともに、調査票の審査、調査結果表の検討については集計した結果について農林水産省が示す審査・集計・検討事項一覧表の検討事項全てについて行うこと。

回収率は、平成 24 年調査及び平成 25 年調査ともに確保されるべき質として定めた 100%を全て達成した。

また、スケジュールに沿って業務が確実に実施されており、調査客体からの問合せ等の対応や調査票の審査及び疑義照会対応においても民間事業者は確実に業務を実施しており、納品後に農林水産省が確認を求めた疑義照会件数については市場化テスト第 1 期の実績と比べると減少しているなど業務は確実に実施されたものと評価できる。

### 3. 実施経費に関する評価

平成 24 年調査及び平成 25 年調査の実施経費を従来経費（平成 20 年調査）と比較すると、平成 24 年調査では、1 億 9,591 万円（削減率 63.0%）の削減、平成 25 年調査では、2 億 463 万円（削減率 65.8%）の削減となっており、いずれの調査年においても経費の削減が図られている。

#### 4. 今後の事業について

本事業における民間委託事業の実施状況については、平成 24 年調査及び平成 25 年調査の調査票の回収率は、確保されるべき質として定めた 100%を達成しており、これは農林水産省とも連携し十分に調査協力を行った結果であり評価できる。

また、実施経費についても平成 24 年調査及び平成 25 年調査ともに約 2 億円の経費が削減されていることも評価できる。

加えて、農林水産省が実施した調査客体に対するアンケートにおいても良好な評価を得ていることから、全体的な評価として良好に実施されていると評価できる。

以上のことから、本事業は良好な実施状況であるため、次期においては、「新プロセス運用に関する指針」（平成 24 年 4 月官民競争入札等監理委員会）に基づく新プロセスに移行した上、次期事業においても引き続き民間競争入札を実施することが適当であると考えられる。

以上